

日本粘土学会参考粘土試料の概要

○JCSS1101b カオリナイト(関白)

産地：栃木県宇都宮市宮山田町関白鉱山

性状：原鉱石を手選選別し、小型ジョークラッシャーで10mm以下に粉碎。乾燥後ボールミルで粉碎し、60メッシュ以下に篩分け

不純物：明礬石、石英

備考：XRDパターンにはカオリナイトの反射の他に、明礬石と石英によると考えられる反射が見られる。

○JCSS1301 ディッカイト(勝光山)

産地：広島県庄原市川北町(勝光山滝ノ谷鉱床)

性状：原鉱石を粗砕後、湿式ボールミルで粉碎、乾燥後解砕・混合したもの

不純物：石英、微量のパイロフィライト、ダイアスポアなど

備考：XRDパターンにはディッカイトの反射の他に、石英、パイロフィライト、ダイアスポアによると考えられる反射が見られる。

○JCSS2101 パイロフィライト(勝光山)

産地：広島県庄原市川北町(勝光山滝ノ谷鉱床)

性状：原鉱石を粗砕後、湿式ボールミルで粉碎、乾燥後解砕・混合したもの

不純物：石英、微量のダイアスポア、カオリナイト

備考：XRDパターンにはパイロフィライトの反射の他に、石英、カオリナイト、ダイアスポアによると考えられる反射が見られる。

○JCSS3101 モンモリロナイト(月布)

産地：山形県西村山郡大江町月布

性状：原鉱石を粉碎濃集処理したもの

不純物：ごく微量の石英

備考：XRDパターンにはモンモリロナイトの他に、石英によると考えられる反射が見られる。底面反射の面間隔には、測定時の湿度による影響が現れる。

○JCSS3102 モンモリロナイト(三川)

産地：新潟県東蒲原郡阿賀町白崎

性状：原鉱石を粉碎して300メッシュの粉末としたもの

不純物：クリストバライト、雲母、角閃石、少量の石英、長石

備考：XRDパターンにはモンモリロナイトの他に、クリストバライト、雲母、角閃石、石英、長石によると考えられる反射が見られ、特にクリストバライトの反射が強く見られる。

○JCSS3501 合成サポナイト

合成：クニミネ工業株式会社

性状：粉末

不純物：認められない

備考：XRDパターンでは不純物の回折線は認められない。モンモリロナイトと同様、底面反射の面間隔には、測定時の湿度による影響が現れる。